

SGU 四国ゴルフ連盟会報

No.66

発行/四国ゴルフ連盟

松山市福音寺町55-1

〒790-0921

TEL 089-990-3260

FAX 089-990-3261

2017 (平成29) 年度 SGU 主催競技の開幕 第37回四国女子アマチュアゴルフ選手権競技

エリエールゴルフクラブ 〈5/17・18〉

河本 結 選手 (松山国際G) が4年ぶり2度目の栄冠

四国ゴルフ連盟主催競技の幕開けとなる第37回四国女子アマチュアゴルフ選手権競技が5月17・18日の2日間、香川県のエリエールゴルフクラブで開催され、初日4アンダーで首位に立った河本結選手は、2位に入った黒田光理選手 (屋島C) に一時は逆転されたが、14、16番でバーディーを奪い、見事2度目の優勝を飾りました。

上位7名が日本女子アマチュアゴルフ選手権競技 (6月20日～23日 奈良国際ゴルフ倶楽部) へ、6名が日本女子ミッドアマチュアゴルフ選手権競技 (11月16、17日 名古屋ゴルフ倶楽部) への出場資格を得ました。



河本 結 選手

2017年度 (第37回) 四国女子アマチュアゴルフ選手権競技

(6,181y Par72)

POS	PLAYER	CLUB	TOT	1R	2R	POS	PLAYER	CLUB	TOT	1R	2R
優勝	河本 結 ★	松山国際G	140	68	72	15	村山上紀菜	小豆島シーサイドC	152	74	78
2	黒田 光理 ★	屋 島C	141	70	71	19	野島 夏子	小豆島シーサイドC	153	78	75
3	後藤田寧々 ★	徳 島C	144	70	74		岡 初紀	屋 島C	153	77	76
4	堀 さんご ★	新琴南G	145	71	74		中川 月奈	松山国際G	153	75	78
5	石川 夢香 ★	滝の宮C	147	76	71	22	高橋英里子	松山シーサイドC	154	78	76
	都 玲華 ★	東徳島G	147	76	71		後藤なのは	パシフィックG	154	75	79
7	木内 真衣 ★	小豆島シーサイドC	148	78	70	24	田村 和	久 万C	155	81	74
	手束 雅	徳 島C	148	75	73		村上 美空	滝の宮C	155	79	76
	佐賀 美咲	SGU	148	74	74		田口 咲春	スカイベイG	155	76	79
10	山本 唯加	Kochi黒潮C	149	74	75		島勝ひなた	徳 島C	155	75	80
11	松原 果音	小豆島シーサイドC	150	76	74	28	長谷川千尋	スカイベイG	156	79	77
	山口 里緒	こんぴらLG	150	76	74		細谷 奈々	新琴南G	156	79	77
	岡田 愛梨	アルファ津田C	150	75	75		中野 なゆ	スカイベイG	156	78	78
	吉原奈生子	新琴南G	150	74	76						
15	大西 菜生	琴 平C	152	76	76						
	岡田 美桜	御 所C	152	75	77						
	鴻上みらい	新居浜C	152	75	77						

★日本女子アマ出場者

日本女子ミッドアマ出場者

三木 逸子・藤内 忍・川西 章子・白井 晶子
藤井 里香・村田 直子

第37回四国アマチュアゴルフ選手権競技

土佐カントリークラブ 〈6/7～10〉

加藤 渉 選手 (屋島C) が優勝

第37回四国アマチュアゴルフ選手権競技が6月7～10日の4日間、高知県の土佐カントリークラブで開催されました。初日は雨天により中止となり、予選2R、決勝1Rの3日間競技となりましたが、白熱した熱戦が繰り広げられました。加藤選手は、2位に入った杉原選手に一時は並ばれましたが、終盤に2連続バーディーを奪い、13アンダーのスコアで見事初優勝を果たしました。

なお、上位9名が日本アマチュアゴルフ選手権競技(7月4日～7日 広島カントリー倶楽部八本松コース)への出場資格を得たので四国勢の活躍を期待します。



加藤 渉 選手

2017年度 (第37回) 四国アマチュアゴルフ選手権競技

(6,628y Par72)

POS	PLAYER	CLUB	GTOT	POS	PLAYER	CLUB	GTOT
優勝	加藤 渉 ★	屋島C	203	17	落合 凌	屋島C	218
2	杉原 大河 ★	グランディ鳴門G	205		丸山 翼	志度C	218
3	黒川 逸輝 ★	讃岐C	207		竹内 瑛信	北条C	218
4	岡田 晃平 ★	スカイベイG	208	20	東 大智	新琴南G	219
5	竹川加寿斗 ★	屋島C	209	21	福岡 浩二	愛媛G	220
	谷本伊知郎 ★	高松グランドC	209		公受 将輝	宇和島C	220
7	浅野正太郎 ★	高松ゴールドC	213		井上 貴弘	Kochi黒潮C	220
	黒川 航輝 ★	讃岐C	213		竹村 厚彦	スカイベイG	220
9	板東 寿匡 ★	徳島C	214	25	井上 俊樹	小豆島SG	221
	三木 一外	こんぴらLG	214		森内 信隆	松山シーサイドC	221
11	板東 篤司	徳島C	215		今井 忠雄	高知G	221
	河本 力	松山国際G	215		中川 聖太	徳島C	221
13	田村 泰治	屋島C	216		神野 誠士	松山シーサイドC	221
	岡本 和彦	土佐ユートピアC	216		村上 敦	サンセットヒルズC	221
15	大藤 友理	グリーンフィールG	217		神田 篤	スカイベイG	221
	吉本 翔雄	高松ゴールドC	217				

豪雨の為、第1Rを中止とし、競技を54Hに短縮した。

★日本アマ出場者

第2回ジュニア四国地区強化指定選手のトレーニング合宿の開催



4月4、5日の2日間、松山市野外活動センター(レインボーハイランド)において、強化選手(男子8名、女子9名)が参加し強化合宿を行いました。初日はJGAの講師により、正しい姿勢と動作の習得についての講習とトレーニングを行った後、PGA及びLPGAの講師により道後ゴルフ倶楽部においてコースマッピングの実地講習を行い、また、夜はバーベキューを行い楽しく交流を深めました。

2日目は、エリエールゴルフクラブ松山において、PGA及びLPGAの講師によるショートゲーム実地講習などを行いました。

連盟としても、ジュニア選手が世界に羽ばたくとともに、良きゴルファーとして成長するよう支援を行うこととしています。



2017年度

第71回四国グランドシニア会春季競技会

滝の宮カントリークラブ 〈5/9〉

尾鼻 勝吉さん (こんぴらLG) が優勝

グランドシニア会春季競技会が5月9日に、本年度のミッド・グランドシニア選手権競技の会場である滝の宮カントリークラブで46名の会員が参加して開催されました。特に、今回からはいつまでもお元気でゴルフを楽しんでいただく励みとなるよう80歳以上の方を対象にグロス上位者を表彰することとし、参加された方は元気にプレーをし、交流を深められました。

【次回秋季大会は10月31日(火) エリエールゴルフ倶楽部で開催予定】



尾鼻勝吉さん

2017年度 第71回 四国グランドシニア会 春季競技会 成績表

(Par72 男子:5,712yd 女子:5,227yd)

順位	氏名	所属	NET	GRSS	順位	氏名	所属	NET	GRSS
優勝	尾鼻 勝吉	こんぴらLG	60	85	9	山内 万里	西条G	68	95
2	高橋 猷樹	サンセットヒルズC	63	83	10	平沢 宏	こんぴらLG	69	105
3	塩崎 功雄	滝の宮C	66	80	[全体ベストグロス]				
4	三野 政茂	志度C	66	79	山本三十四 (琴平C) 76				
5	杉本 義徳	土佐C	67	87	[80歳以上グロス]				
6	山田 太郎	ロイヤル高松C	68	78	1位	伊東 隆弘	(新居浜C)	84	
7	菅原 良弘	新琴南G	68	88	2位	篠原 實	(こんぴらLG)	85	
8	鍋坂 英憲	鮎滝C	68	80	3位	松岡 孝雄	(エリエールG)	90	

R & A レベル2ルールスクールの開催



JGA主催のレベル2ルールスクールが、四国で初めてエリエールゴルフクラブ松山において、四国内外から33名の受講者が参加し、5月25・26日の2日間開催されました。

四国では今まで各県ごとに5回レベル1ルールスクールを実施してきました。

今回、四国で初めて開催されたレベル2ルールスクールは日本ゴルフ協会から4名の講師をお迎えし、より詳細な規則、特に重要なプレーの規則について学ぶスクールでした。

裁定集に掲載されている複雑な事例やゴルフ競技での委員会の役割について、また現場での現実的なレフェリングについても座学や実地講習などを通して学び、受講者からは好評のうちに終了しました。



ギ
ヤ
ラ
リ
ー
席

春になると待たれるのがあのマスターズ大会ですね。今年も無事済みました。コースはそれほど長くもなく、深いラフも深いバンカーも無いのになぜあれ程難しいのでしょうか。一番優勝しにくいと言いますね。それは設計がいいのです。では、誰が考え、誰が設計したのかと言いますと、あの天才ゴルファーのボビー・ジョーンズとドクター・マッケンジーの二人です。皆さんもよくご存じのボビー・ジョーンズはアマチュアで過ごし28歳の若さで引退したのです。それまですべてのトーナメントに優勝し、当時は彼と試合をするときはプロ達がハンディを貰ったと言われるほどでした。彼は工科大学を出て、その後、ロウスクールを出て弁護士の免許も取っています。しかも28歳でアマのまま引退をしたほどの人です。今の大学出のプロ達が在学中の事を考えると雲泥の差がありますね。

また、設計者のドクター・マッケンジーは英国の医者で、南ア戦争に従軍し、そこで陣地の偽装のテクニックを覚え、それをゴルフの設計に利用したのです。このコースの難物はグリーンにあります。第1回の競技の後、プロ達が今後、あのコースで勝つためにはガラスの板の上でパットの練習が必要だと言われた位です。

今年の競技はセルヒオ・ガルシアがジャスティン・ローズとの歴史に残る名勝負の末、メジャー初優勝を果たしました。メジャー74戦目の初制覇であり、グリーンジャケットホルダーになった日は、くしくも2011年に亡くなったセベ・バレステロスの60回目の誕生日であったのも何かの物語ですね。日本の松山選手もよく頑張りましたが、残念でした。次期頑張ってもらいましょう。

(手島 皓一)

わがコースの名物ホール その13

今治カントリー倶楽部

アウトコース 2番ホール

今治市内や、来島大橋の展望出来る朝倉の高台に昭和47年10月に開場し、本年45周年を迎える。

コースは適度なアップダウンと緩やかな起伏を持ち変化に富むアウトコースと、比較的フラットな中にもドックレッグや池を配するインコース。共に自然をそのままに生かした大胆なコースレイアウトに、変化のあるショットを存分に楽しめる。

そんな中での名物ホールは、アウト2番ホール。

レギュラーティ 259ヤードと距離は短いが、完全な池越えのショットには、残り100ヤード以内のセカンドショットと言えど気の緩みを許さない。

でも、笠松山をバックに、春の桜やつつじの花も池に映え、そんな景色にふっと疲れを忘れさせてくれる穏やかな優しいホールです。



わがコースの名物ホール その14

徳島カントリー倶楽部

月の宮コース アウトコース 8番ホール

(BT175Y、RT157Y)

当コースは1970年10月26日に9ホールでオープンし、翌年4月26日に18ホールの営業を開始致しました。徳島県下で3番目に開場したコースとして本年47年目を迎えさせて頂きました。

開業当時は県下でのゴルフ人口は500人足らずと聞いております。

会員権をセールスするのもかなり大変だったようです。また、キャディー募集・研修も仕事内容が理解されず苦労があったように聞いております。

さて、8番ホールはこのコースの発祥のホールといわれています。当コースのショートホールとしては一番短いですが、グリーン左横にあるウォーターハザードが全てのゴルファーにプレッシャーを掛けていきます。

素直にストレートボールならOKですが！少しでも力みが入ったら左の池に吸い込まれます。

また、気が緩んだりヘッドアップをしたら下の段に戻ってしまいパーは取れなくなります。とてもメンタルなホールです。



〈事務局からのお知らせ〉

◆今後のSGU主催競技日程について (7月から9月)

第12回四国小学生ゴルフ大会	7月17日	新居浜カントリー倶楽部
第37回四国ジュニアゴルフ選手権競技	7月25・26日	北条カントリー倶楽部
第37回四国クラブ対抗決勝競技	8月3日	琴平カントリー倶楽部
第47回中四国オープンゴルフ選手権競技	8月31日～9月2日	鷹の巣ゴルフ倶楽部
第24回四国ミッド・グランドシニアゴルフ選手権競技	9月6・7日	滝の宮カントリークラブ
第2回四国女子シニアゴルフ大会	9月21日	チサンカントリークラブ北条
第37回四国シニアゴルフ選手権競技	9月27・28日	Kochi黒潮カントリークラブ